

# 老年歯科医学 教育基準

2020年5月8日 発行

## 【編纂】

一般社団法人 日本老年歯科医学会

理事長 佐藤 裕二（昭和大学歯学部高齢者歯科学講座）

教育委員会 委員長 小笠原 正（松本歯科大学大学院健康増進口腔科学講座）

副委員長 大渡 凡人（九州歯科大学リスクマネジメント歯科学分野）

委員 會田 英紀（北海道医療大学歯学部高齢者・有病者歯科学講座）

伊藤加代子（新潟大学医歯学総合病院口腔リハビリテーション科）

金久 弥生（明海大学保健医療学部口腔保健学科）

中根 綾子（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野）

村田比呂司（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科歯科補綴学分野）

宮原 康太（広島大学病院障害者歯科）

## 〈老年歯科医学総論〉

I 老年医学概論	1. 老年医学と歯科医学	
	2. 人口統計	1) 人口構造 2) 老年人口 3) 老年人口割合（高齢化率） 4) 老年人口指数 5) 老年化指数 6) 高齢化社会と高齢社会 7) 前期高齢者と後期高齢者 8) 健康寿命と平均寿命
	3. 高齢者の疫学	1) 死因と寝たきり状態 2) 全身疾患 3) 口腔領域疾患
	4. 高齢者の特性	1) 老年症候群 2) 要介護とフレイル 3) 高齢者の薬物動態
	5. 高齢者の心理学	1) 認知機能 2) 個性と適応 3) 中途障害の心理 4) 死の受容
	6. 高齢者の行動科学	1) 行動科学の特性と阻害要因 2) コミュニケーション形成とその阻害要因 3) 社会参加とコミュニティー・オーガニゼーション 4) 受療パターン（医科と歯科に分けて記述）
	7. 口腔保健とヘルスプロモーション	1) 口腔保健とヘルスプロモーション 2) 健康日本21 3) 全身と口腔の健康
	8. 高齢者の医療倫理	1) 患者の権利 2) 医師の職業倫理 3) 医学研究の倫理 4) 個人情報保護

		<ul style="list-style-type: none"> <li>5) リビングウィル</li> <li>6) 緩和ケア</li> <li>7) 終末期ケア</li> <li>8) 高齢者虐待の特徴と対応</li> </ul>
	9. 高齢者の医療経済	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 国民医療費</li> <li>2) 歯科医療費</li> </ul>
II 社会保障と医療・保健・福祉	1. 高齢者と法制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 社会保障</li> <li>2) 医療・保健・福祉に関する法制度 老人福祉法, 高齢者医療確保法, 介護保険法 高齢者虐待防止法, 健康増進法, 歯科口腔保健法</li> </ul>
	2. 老人福祉法	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 老人福祉制度の仕組み</li> <li>2) 在宅福祉</li> <li>3) 施設福祉</li> <li>4) 高齢者向けの生活施設</li> </ul>
	3. 高齢者医療確保法	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 老人医療</li> <li>2) 高齢者医療確保法</li> </ul>
	4. 介護保険法	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 介護保険制度の仕組み</li> <li>(1) 介護認定</li> <li>(2) 介護給付と予防給付</li> <li>(3) 要介護</li> <li>(4) 要支援</li> <li>(5) 地域支援事業の介護予防事業など</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>2) 介護給付</li> <li>(1) 居宅サービス 〈1〉居宅療養管理指導, 在宅介護型施設など</li> <li>(2) 施設サービス 〈1〉介護老人福祉施設 〈2〉介護老人保健施設 〈3〉介護医療院</li> <li>(3) 地域密着型サービス</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>3) 予防給付</li> <li>(1) 介護予防サービス</li> <li>(2) 地域密着型介護予防サービス</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>4) 地域支援事業</li> <li>(1) 介護予防・日常生活支援総合事業</li> <li>(2) 包括的支援事業</li> </ul>
5. 関連法	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 健康増進法</li> <li>2) 歯科口腔保健法</li> <li>3) 食育基本法</li> <li>4) その他</li> </ul>	
6. 医療・保健・福祉職種	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 連携の形態</li> <li>2) 医療職種</li> <li>(1) 歯科医師</li> <li>(2) 歯科衛生士</li> <li>(3) 歯科技工士</li> <li>(4) 医師</li> <li>(5) 薬剤師</li> <li>(6) 看護師, 准看護師, 保健師, 助産師</li> <li>(7) 診療放射線技師</li> <li>(8) 臨床検査技師</li> <li>(9) 理学療法士</li> </ul>	

		(10) 作業療法士 (11) 言語聴覚士 (12) 管理栄養士・栄養士 (13) その他の医療職 3) 介護・福祉職種 (1) 社会福祉士 (2) 介護福祉士 (3) 精神保健福祉士 (4) 訪問介護員 (5) 介護支援専門員 (6) 公認心理師 4) その他
Ⅲ 加齢と老化	1. 生物学的加齢変化	1) 加齢と老化 2) 老化の仮説 3) 老化のレベル (分子レベル, 細胞レベル, 組織レベル, 器官レベル, 個体レベル)
	2. 全体的加齢変化	1) 体組成 2) 皮膚 3) 感覚器 4) 循環器 5) 呼吸器 6) 消化器 7) 腎, 泌尿器, 生殖器 8) 中枢神経・末梢神経 9) 運動器 10) 内分泌, 代謝 11) 免疫
	3. 知的機能の加齢変化	1) 知的機能 2) 感情, 意欲, 性格 3) 行動
Ⅳ 顎・口腔の加齢変化	1. 歯	1) エナメル質 2) 象牙質 3) 歯髄
	2. 歯周組織	1) セメント質 2) 歯根膜 3) 歯肉 4) 歯槽骨
	3. 歯列	
	4. 口腔粘膜	
	5. 唾液腺	1) 唾液腺 2) 唾液
	6. 顎骨・顎関節と口腔領域の筋	1) 顎骨 2) 顎関節 3) 口腔領域の筋肉
	7. 舌	
	8. 顔貌	
	9. 咽頭・喉頭	
	10. 感覚	1) 体性感覚 2) 特殊感覚 (味覚)

	11. 機能	1) 摂食嚥下機能 2) 咀嚼機能 3) 発語機能 (構音, 発声)
V 高齢者の臨床評価と診療方針の決定	1. 高齢者に対する歯科診療の進め方	1) 診療の流れ 2) 医療面接 3) POS
	2. 患者情報の収集法	1) 病歴聴取 2) 理学的検査 3) コンサルテーション
	3. 全身の評価	1) 全身状態 2) 栄養 3) 認知機能 4) 服用薬剤 5) その他の問題点
	4. 口腔の評価	1) 摂食・咀嚼・嚥下・舌運動 2) 発声・構音 3) 唾液分泌 4) 審美 5) 感覚 (味覚を含む)
	5. 医療情報の分析と問題点抽出	1) 歯科的な問題点 2) 全身的な問題点 3) その他の問題点
	6. 診療計画の立案	1) 診療方針 2) インフォームドコンセント 3) 診療計画の決定 4) 多職種連携 (チーム医療)

〈老年歯科医学各論〉

I 高齢者の口腔領域疾患	1. 歯および歯周組織の疾患	1) う蝕 (根面う蝕も含む) 2) 破折と摩耗・咬耗 3) 歯髄・根尖性疾患 4) 歯周病
	2. 歯の欠損	
	3. 軟組織疾患	1) 炎症 2) 腫瘍および腫瘍類似疾患 (1) 義歯性線維症 (2) 前がん病変 (3) 良性腫瘍 (4) 悪性腫瘍 3) 粘膜・皮膚疾患 (1) 口腔カンジダ症 (2) 口腔扁平苔癬 (3) 口角炎 (4) 口唇疱疹, 帯状疱疹 (5) 口内炎 (アフタ, 義歯性口内炎等) (6) 舌炎 (7) 唾液腺疾患 (8) 義歯性潰瘍 (9) その他
	4. 硬組織疾患	1) 骨折

		<ul style="list-style-type: none"> <li>2) 顎関節脱臼</li> <li>3) 顎骨骨髓炎</li> <li>4) 良性腫瘍</li> <li>5) 悪性腫瘍</li> <li>6) 薬剤関連顎骨壊死</li> <li>7) その他</li> </ul>
	5. 口腔乾燥	
	6. 口臭	
	7. 顎顔面領域の神経疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 三叉神経痛</li> <li>2) 顔面神経麻痺</li> <li>3) 舌痛症</li> <li>4) オーラルジスキネジア</li> <li>5) その他</li> </ul>
	8. 口腔機能の疾患	1) オーラルフレイル, 口腔機能低下症
	9. 摂食嚥下障害	
	10. その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 発語障害 (発声, 構音障害)</li> <li>2) 審美障害</li> <li>3) 感覚障害</li> </ul>
II 歯科治療時の管理	1. 医療安全と感染予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 医療安全</li> <li>2) 感染予防</li> </ul>
	2. 安全管理の手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 全身的偶発症とリスクマネジメント</li> <li>2) バイタルサイン</li> <li>3) モニタリング</li> </ul>
	3. 介護	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 移乗・車いす操作</li> <li>2) 治療時の介護</li> </ul>
	4. 栄養	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 栄養状態の評価</li> <li>2) 栄養療法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養投与経路 (経腸栄養・経静脈栄養)</li> <li>・栄養投与量 (エネルギー, 水分, 各栄養素)</li> </ul> </li> <li>3) 栄養指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>・病態別</li> <li>・形態調整食</li> <li>・栄養サポートチーム</li> </ul> </li> </ul>
	5. 全身疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 循環器疾患 (高血圧症, 虚血性心疾患, 不整脈, 心臓弁膜症, 心不全など)</li> <li>2) 神経疾患 (脳血管疾患, アルツハイマー病, レビー小体型認知症, 前頭側頭型認知症, Parkinson 病, 筋萎縮性側索硬化症など)</li> <li>3) 代謝・内分泌疾患 (糖尿病, 脂質異常症, 骨粗鬆症, 甲状腺疾患など)</li> <li>4) 肝・胆・膵疾患 (肝炎, 肝癌, 肝硬変, 膵炎, 膵癌など)</li> <li>5) 腎・尿路疾患 (慢性腎臓病, 腎不全, 治療としての透析など)</li> <li>6) 血液・造血器疾患 (特発性血小板減少性紫斑病, 骨髄異形成症候群, 白血病など)</li> <li>7) 呼吸器疾患</li> </ul>

		(肺炎, 気管支喘息, 肺結核, 慢性閉塞性肺疾患など) 8) 膠原病および類縁疾患 (関節リウマチ, 全身性硬化症, リウマチ性多発筋痛症など) 9) 消化管疾患 (逆流性食道炎, 潰瘍性大腸炎など) 10) 精神疾患 (うつ病, 統合失調症, 双極性障害など)
	6. 薬剤	1) 薬剤投与の注意点 2) 薬剤による影響 (1) 全身への影響 (2) 口腔への影響
	7. 周術期	1) 周術期口腔機能管理 2) 周術期専門的口腔衛生処置 3) その他
Ⅲ 訪問診療・緩和ケア	1. 訪問診療の制度および体制	1) 訪問診療の制度的基盤 2) 病診連携 3) 医科歯科連携 4) 他職種との連携
	2. 歯科訪問診療	1) 訪問診療の意義と目的 2) 訪問診療の場と対応 3) 訪問診療用器材 4) 訪問診療における危機管理 5) 訪問診療における緊急時対応
	3. 訪問歯科保健指導	1) 医療としての訪問歯科衛生指導 2) 居宅療養指導と訪問歯科衛生指導
	4. 口腔健康管理	1) 口腔衛生管理 2) 口腔機能管理 3) 口腔ケア
	5. 緩和ケア	1) 緩和ケア 2) 全人的苦痛 (トータルペイン) 3) 緩和ケアチーム 4) ホスピス 5) 歯科診療 6) 口腔健康管理
Ⅳ リハビリテーション	1. リハビリテーションの概念	1) 理念 2) リハビリテーションチーム 3) 自立生活支援と社会参加
	2. 摂食嚥下リハビリテーション	1) 摂食嚥下リハビリテーション総論 ・摂食嚥下障害とは ・社会的背景 2) 摂食嚥下障害の原因と病態 ・摂食嚥下とは (※解剖・生理を含む) ・摂食嚥下障害とは ・摂食嚥下障害の原因 ・摂食嚥下障害の病態 3) 摂食嚥下障害の評価方法と診断 ・スクリーニングテスト ・嚥下内視鏡検査 ・嚥下造影検査 4) 摂食嚥下障害への対応

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔健康管理</li> <li>・治療的アプローチ a 間接訓練 b 直接訓練</li> <li>・代償的アプローチ</li> <li>・環境改善的アプローチ</li> <li>・心理的アプローチ</li> <li>・栄養療法</li> <li>・食事介助</li> <li>・リスク管理</li> </ul> <p>5) 多職種連携</p>
	<p>3. 構音機能のリハビリテーション</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 構音障害の原因と病態</li> <li>2) 構音障害の評価, 診断</li> <li>3) 構音障害への対応</li> <li>4) 多職種連携</li> </ol>